

3. 患者の治療状況及び治療への課題

◎診断時カウンセリングを活用したか？

	拠点病院以外		拠点病院	
あり	1人	7.1%	4人	18.2%
なし(いないため)	11人	78.6%	1人	4.5%
なし(不要)	2人	14.3%	3人	13.6%
なし(その他)	0人	0.0%	14人	63.6%

拠点病院では、「なし(不要)」と答えた中には、支援外来を利用していると答えた病院があった。拠点病院以外でカウンセリングを利用しているのは保健福祉センターのみであった。

◎他院からの紹介有無

		拠点病院以外		拠点病院	
あり	病院から	3人	21.4%	21人	95.5%
	診療所から	2人	14.3%	1人	4.5%
	保健福祉センター・保健所から	0人	0.0%	0人	0.0%
なし		8人	57.1%	0人	0.0%
不明		1人	7.1%	0人	0.0%

※紹介時に渡した資料としては、紹介状は全数渡している。その他資料としては、地図(6例)・たんぽぽ(2例)・その他(4例)である。

◎現在の医療機関

	拠点病院以外		拠点病院	
本医療機関	2人	14.3%	20人	90.9%
紹介	11人	78.6%	2人	9.1%
その他	0人	0.0%	0人	0.0%
不明	1人	7.1%	0人	0.0%

◎エイズ治療を行っているか？

拠点病院以外では、11施設中1施設が行っていると答えた。拠点病院では、1施設が行っていないと答えている。治療をしていない病院でも、院内の体制づくりを行い、年1回スタッフや研修医への教育を実施していると答えた施設が1施設あった。

〔 拠点病院以外：11施設
拠点病院：3施設 〕

	はい	(割合)	いいえ	(割合)
拠点病院以外	1	9%	10	91%
拠点病院	2	67%	1	33%

※治療を行っていない場合の課題は何か？

- ・専門医がいない・専門病院でないため
 - ・殆どの医師が非常勤医師であり、主治医制がとりにくい
 - ・他の血液内科疾患でベッドもいっぱいであり、受け入れが難しい
 - ・検査に同意を必要とすることが、医療機関で実施する際の大きな壁である
- 病院体制の問題を多くの施設があげている

◎HIV感染症の一般診療を行っているか？

	はい	(割合)	いいえ	(割合)	その他	(割合)
拠点病院以外	5	45%	3	27%	3	27%
拠点病院	2	67%	1	33%	0	0%

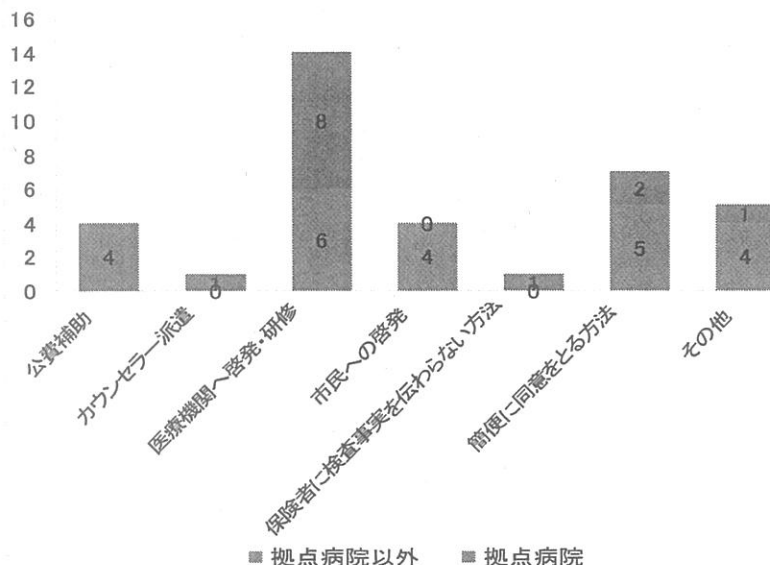
行っていない課題は何か？

- ・専門医がいない
- ・他治療をすることで免疫抑制状態になるため
- ・免疫不全

※「その他」の意見

- ・他科ではしないが、当科(呼吸器科)で発見したら合併症はみる
- ・断らないが、主治医でみてもらうように勧める
- ・診断前に肺炎診断をした治療は行う

◎一般医療機関で HIV 検査が普及するために必要な要件はなにか？（複数回答）



◎検査体制に関するご意見

(1) 区保健福祉センターに対して

- ・自ら情報を得ようと思わない人への周知には受身でも情報が入るような工夫が必要
- ・周知方法を工夫すべき
- ・環境を整える、イベント検査、夜間・休日検査、即日検査の導入

(2) 保健所に対して

- ・検査車が来てくれるなど気軽に受けられる場が必要である

(3) c h o t CAST なんばに対して

- ・場所が不便である。北エリアにあるほうがいい
- ・夜間検査が増えたらいい。東京南新宿のよう 1 か所に集中、週 1 回でもいいので検査。

(4) 医療機関に対して

- ・自費なので困難。パートナー検査を勧める。
- ・中小病院で見つけられるのが大切
- ・千円キャンペーンを実施する・拡げる
- ・貧困層が集まるような病院には公費を投入して、入院時スクリーニング検査に導入するような仕組み
- ・院内に H I V 啓発ポスターを設置。H I V 感染症やエイズの症状について書かれたポスターがあれば、患者が、何らかの症状を訴えて受診した時に、H I V の検査ができる。患者自身は気付いていないので、医師が認識を持って、検査をするべきだとも思う。

(5) その他

- ・HIV 感染症自体が知られていない。メディアをもっと活用すべき
- ・大阪は増えているという CM をうつことで、「ひょっとしたら」と思う層の受検が増えるのではないか。
(知識はかなり広まっていると考えられるので、ハイリスク自覚のある人は減っているのでは)
- ・高齢者をどう見つけるかが課題である ・ハイリスク層へのフォーカス（刺青、風俗店経営等）
- ・年間数例の患者を発見しているが、呼吸器科なので、発症前に発見することはできない。
- ・エイズは特殊な疾患ではなく、診療上、常に可能性を考えておく必要がある。
- ・検査件数の伸び悩み原因は、「HIV 感染が判明したからといって、どうせすぐに治療しない」ということがあると思う。HIV 感染症は「早期発見、早期治療」の考えと異なる点。
- ・保健センターなどは定期的に受けている人が多く、MSM より CSW が多い印象